

聖ヨハネ学園

後援会だより

—41—

発行：聖ヨハネ学園後援会
〒569-1032 高槻市宮之川原2-9-1
TEL&FAX 072-687-0548



下田部保育園の体育遊び

聖ヨハネ学園130周年記念

聖ヨハネ学園の旅路の上に、神の祝福を祈ります。



日本聖公会大阪教区 主教
アンデレ 磯 晴久
(後援会顧問)

社会福祉法人聖ヨハネ学園創立130周年を、心からお祝い申し上げます。日ごろ、後援会活動にいつもご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

先日の記念礼拝で頂きました「130周年のあゆみ」のご挨拶の中で、野知理事長が「この事業体・組織が、数人規模で始まり、数十人になり、現在ここを利用される人、ここでは働く人、ここを支えてくださる方を合わせると千人前後の規模となつております。」と述べておられます。私は、マタイによる福音書13章31節以下のからし種のたとえを思い出しました。

「天の国はからし種に似ている。人がこれを取つて畑に蒔けば、どんな種よりも小さいのに、成長すると

空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる。」リーラ・ブール女史によつて蒔かれ小さな種が、戦争や様々な困難や試練を乗り越えながら、130年かけて「命」を守る大きな木になられました。名を残しておられる方、それ以上に名は残しておられないけれども多くの人々の貢献があつたでしょうし、また多くの人々の祈りがあつての大きな木です。何よりも神さまの不思議な導きと力添えを感じます。

これから140年、150年、未来に向かつて、どのような大きな木になるのでしょうか。楽しみです。



聖ヨハネ学園

輝きを失うことなく、守られ大事にされ、さらに多くの瞳と共に輝き続けますようにお祈りします。

詩編90篇17節では、「わ

たしたちの神、主の喜びが

よう。わたしたちの手の働きを、わたしたちのため

に確かなものとし、わたしたちの手の働きを、どうか

確かなものにしてください」と詩篇の作者は祈っています。

神様が聖ヨハネ学園にかかるすべての人々の手

の働きをますます確かなものとしてくださつて、高槻

の地にあって、ますます大きな木へと成長されますよ

うに祈念しつつ、また、後援会の皆様の更なるご支援

・ご協力をお願いして、巻頭のメッセージとさせて頂きます。感謝。

感謝礼拝説教（要旨）



社会福祉法人聖ヨハネ学園元理事長
後援会顧問 司祭

聖書のことば
(ヨハネ福音書9)

(ヨハネ福音書9章1~3節)

かにい 生まれて目の見えない人を見かけられた。

弟子たちがイエスに尋ねた
『ラビ、この人が生まれつ

か罪を犯したからですか。

親ですか」
えになつた。」
「本人が罪を
イエスはお咎

を犯したからでもない。神

である。」
(ラジオ先生の意)

聖ヨハネ学園が今日ある

アメリカから派遣されたり

教師がおられたからです。

ハネ教会婦人会の皆さん

上の学校が新設され、当時は上流と呼ばれた人々の若い子女たちに西洋的な教育をすると知り、その教員に応募して認められたのです。当初は教員としての来日でした。彼女は強い意思を内に秘めていたのでした。そ

れません、彼女が来日を志願したとき、初め関係者たちは彼女のひ弱そうな姿を見て宣教師の働きにはとても無理と許可しませんでした。でも諦めずに希望し続けました。やがて大坂にて

彼女の指導により2名の孤児を受け入れて始まつたこと、これは皆さんよくご存じのことと思います。

　　彼女が明治の日本にどうして來たのか、一ヶ月に及ぶ長い船旅、食べ物や飲み物も異なり、言葉が通じない未知の人々の中に何故、

されは日本の人々に何として
も神の愛を伝えたかったの
です。その方法の一つとし
て彼女は婦人たちと教会で
孤児を引き取ることを提案
しています。

ました。しかし彼女は、この働きこそ神から与えられた責務だと受け止めたのです。今日のようにな社会福祉制度の観点がほとんど無かつた時代です。

ほのぼのとした会話もあります。彼にとつては正に園児ファーストだったのです。興味ある方はぜひWEBサイト「故古田誠一郎氏遺稿集」を検索してください。

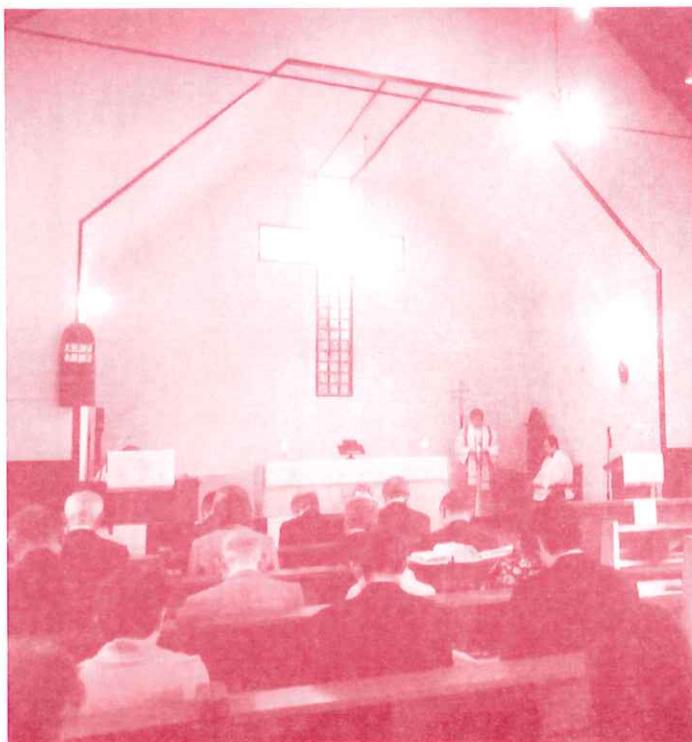
学園の歴史には、これら指導してくださった人々と、その思いに共鳴して苦労を共にした実に多くの先輩たちがおられたこととも心に留めましょう。

うことだつたのです。彼らは自分の欲望を満たすためや、名を残すなどのためではなく、神の働きに加わる、そんな生き方を選んだのです。

最後に、冒頭の聖書について説明します。弟子たちが道で物乞いをしていた、生まれつき目の見えない人について、「その原因は本人なのか、あるいは両親にあるのか?」とイエスに聞きます。それに対するイエスが「神の業がこの人に現れるためである。」と答えられたのです。釜ヶ崎在住



礼拝の模様



の本田神父が訳された聖書『小さくされた人々のための福音』では「神の生きざまがこの人によつて現れるためである。」となつています。イエスの答えは、目が見えないことは因果応報ではない、今ある苦難は以前の過ちの結果ではないと宣言されたのです。そして、この現実の先に目を向けさせようとされたのです。そこそこ神の働きがあるのだ。ここに福祉の原点が示されています。

神の働きが人を通して実現するということ、今日、それを実際にどれだけの人が認識しているでしょうか。普段の日々の生活の中に大きな意味を与えています。神と人間との関係、それがもしかしたら、私たちは神の働きを阻止・妨げているのかもしれません。今日、お話しした学園関係のお二人のように、自分の使命に気づき、そこに生きること、社会福祉事業に携わる者として。ここに福祉の原点が示しては忘れてはならないことだと思います。

礼拝の模様

秋晴れに恵まれた2019年11月16日(土)、大阪聖ヨハネ教会礼拝堂に於いて、「社会福祉法人聖ヨハネ学園創立130周年」記念感謝礼拝が、アンデレ磯晴久主教の司式、学園チャプレンのマルチン韓相敦司祭・ジョージ林正樹司祭の補式で守られました。説教者のウイリアムス竹内信義司祭は、最初に「ヨハネによる福音書9章1節～11節」の聖書の箇所を読まれ、「日本での働きを願い・祈り・実現させた、創立者ミス・リーラ・ブル女史が、大阪聖ヨハネ教会婦人会員と共に、困難な状況の中、キリスト教精神の愛と奉仕で、聖ヨハネ学園の基礎を築きあげられた事」「6代目園長・古田誠一郎氏(後に、高槻市初代公選市長に就任)

が、愛と慈愛に満ち溢れ、子どもの目線に立ち、子どもの心の中に入っていた様子を、残された会話集の紹介などを通して、社会福祉法人に関わる者へのメッセージを静かにそして熱く語られました。

礼拝後の挨拶・祝辞の後、会館2階で軽食を頂きながら、聖ヨハネ学園の歴史と施設紹介のビデオを鑑賞しつつ、懐かしい方々との再会を喜び、交わりの時を過ごしました。

夕方からは、会場をホテルに移し、「第29回聖ヨハ

ネ学園法人交流会」を、約100名が12のテーブルに別れて交流の時を持ちました。表彰などのセレモニーの合間に、準備された食事に舌鼓をうちつつ、皆が笑顔で

礼拝・法人交流会

聖ヨハネ学園130周年記念



後援会会长 井上美津

の会話に花が咲きました。毎年恒例の抽選会では大いに盛り上がり、テーブル番号を呼ばれると、ひょつとしたら私かも?との期待を持ちつつ、ハラハラ・ドキドキの楽しい時間を過ごしました。

当日仕事を終えて駆け付けた職員。この日のために何日もかけて準備を行つた職員。会をおおいに和ませ、最後まで楽しくさせて下さった上手な司会者。全てが暖かい雰囲気の中で進められ、其々が感謝の気持ちを抱いて帰路につきました。

社会福祉の現状は、決して恵まれてはいませんが、ミス・リーラ・ブル女史の思いを受け継ぐ者として、130周年記念感謝礼拝・法人交流会を再びの出発として、次に進んで行こうという気持ちを、出席者全員が心に刻んだ1日ではなかつたでしょうか。

ミス リーラ・ブル肖像



今年度の進学について

今年度は、男子1名が施設から大学へ、女子1名が自立して美容専門学校へ進学しました。特に男子が学園から進学するのは、初めてになります。昨年度は、男子が大学へ自宅から1名、女子が専門学校へ施設から2名進学しましたが、女子1名が中途退学となりました。結果だけを見ると卒業できなかつたので、非常に残念ですが、専門学校に入学した経験は残るので、長い人生の中で見るとプラスになると信じています。実際にその子どもと話をしたときに、色々な事情があつて退学してしまつたけれど、いつかまた機会があれば、チャレンジしてみたいと言つていたので、その言葉を聞いて、進学させて良かつたと思っています。

子どもが学校へ進学するときに、初めから退学を考えている親はないと思えます。勿論、施設と一般家庭を同じように考えられないのは分かりますが、せめ

て、進路は自分の希望する所へ可能であれば行かせたいと考えています。入学するからには、卒業するのが理想ですが、一般的には大學生4年間で約1割の学生が退学し、必ずしも、そうならないときもあります。昨年、介護の専門学校へ入学し、来年の3月に卒業予定の女の子が、現在就職活動をしています。彼女は高齢者施設を希望しているので、私としては、法人内の高齢施設で働いて欲しいと思います。

1人でも多く、将来への夢を持ち、それに向かって進めることができるように、これからも支援していくたいと考えています。子どもたちの夢を実現するためには、奨学金へのご支援を宜しくお願いいたします。



聖ヨハネ学園同窓会

は本当に有難いと感謝しています。児童養護施設への入所は本人の意思ではなく、色々な事情があり、仕方なく入所しているケースが多く、子ども達も夢を持つことを諦める傾向があるので、1人でも多く、将来への夢を持ち、それに向かって進めることができるように、これからも支援していくたいと考えています。子ども

くの夢を実現するためには、奨学金へのご支援を宜しくお願いいたします。

2019年度4月～9月

施設名	件数	金額
聖ヨハネ学園	11	142,000円
ミス・ブル記念ホーム	21	101,000円
地域生活支援センター光	8	183,000円
下田部保育園	1	3,000円
聖ヨハネ子どもセンター	1	3,000円
本部	20	558,017円
合計	62	990,017円

後援会寄付金

2019年度上半期(4月1日～9月30日)に61名の方々からご協力をいただきました。
ありがとうございます。
後援会会費 ¥202,000
後援会寄付金 ¥478,600
合計 ¥680,600

聖ヨハネ学園土曜会奨学金制度とは……

1963年立教大学BSA(聖アンデレ同胞会)第2支部の皆様が土曜会という活動を通して高校進学、特に私学に進学する際の授業料負担に対して選学金を継続してご支援いただいておりました。2010年に土曜会の活動を発展的に解消され、その際、学園に対して500万円を寄付していただきました。

みなさまのご意志を「土曜会奨学基金」として学園の子どもたちの進学奨励金制度として発足しました。学園後援会からも賛同を得て、2012年度から年間30万円を基金に拠出していただいております。ここにご寄附いただきましたみなさまに感謝とお礼を申しあげます。今後も子どもたちへのご支援をよろしくお願ひいたします。

「後援会だより」④

● 発行 社会福祉法人
〒五六九一ー〇三二 高槻市宮之川原二十九一一
● 電話・ファックス

(〇七二)六八七一〇五四八
子どもが学校へ進学するときに、初めから退学を考えている親はないと思えます。勿論、施設と一般家庭を同じように考えられないのは分かりますが、せめ

年間会費	1)個人会費	1口 2,000円
入会方法	2)団体・法人会員	1口 10,000円
	いずれも、何口でもよろしくお願ひします。	
	振り替え用紙でご送金いただくだけでも	
	会員登録させていただきます。	
	郵便振替口座=00910-5-5789	
寄付控除	加入者名=(社福)聖ヨハネ学園	
	ご寄付は次の法律により税法上の優遇措置が受けられます。	
	所得税法第78条第2項第3号該当	
	法人税法第37条第3項及び第4項第3号該当	

